



全国曹洞宗青年会の 活動紹介(五十五)

「總持寺 世界禪Challenge」紹介

副会長 山崎 秀典
やまざき しゅうてん

「總持寺 世界禪Challenge」は、太祖・瑩山紹瑾禪師七〇〇回大遠忌記念事業として行われるオンラインを通じて全世界が一つになって坐禅をするプロジェクトです。

瑩山禪師さまが相承されてきたみ教えが全世界に広がっていることを実感すると共に、一人でも多くの方に坐禅を実践していただきたいという願いから大本山總持寺大遠忌局において立ち上げられました。

本事業の集大成となる、令和六年五月一二日の大本山總持寺をメイン会場とした「總持寺 世界禪Challenge」に向けて、全国の各開催寺院と大本山總持寺とをオンラインでつなぎ、二か所の道場が一体となって坐禅を勤める催しを半年にわたって展開しています。

昨年一二月に大本山總持寺祖院でスタートし、一二月に北海道・定光寺さま、



Photo by 中島 真美

本年一月には岡山県・洞松寺さま、二月には福岡県・安国寺さまでも開催され、回を追うごとに盛り上がりを見せており

ます。

一月に起こった能登半島地震後には祖院へのおもいを寄せることのできるよう内容も改編されて、開催する意義をより深めております。

「總持寺 禪Challenge」の中心は一炷の坐禅です。大遠忌局局長・三村契一老師は「宗門の根幹である坐禅にふれていたいただきたい」との強いおもいでこの企画を作り上げてくれました。開催地FMラジオ局のパーソナリティーとの会話を交えながら、禅語にまつわる法話や、クイズといった、親しみやすい内容から始まりますが、この企画の根幹である、修行道場と同じ時間の坐禅を共に行ずることからは、参加者がおのずから「坐禅」の本質を感じていただけるのだと思います。

ありがたいことに、全国曹洞宗青年会

(以下、全曹青)にもお声掛けをいただき、

報恩の誠を捧げる機縁を頂戴いたしました。全曹青では、広報と受付などの運営補助、イベント終了後の一筆箋写経を行っております。奉納いただいた写経は大本山總持寺において五月一二日に行われる集大成イベントにて奉納し、参加した多くの皆さまの「おもい」をお届けし、未来に紡いでいけるよう、引き続き開催地曹青会とともに協働し、努力してまい

ります。

また本企画は宗報等でも周知されておりますが、宗門のみならず、多くのイベント企画関連会社やTOKYO FMはじめ、系列地方ラジオ局のメディアと連携し、それらを通じての情報発信がされております。関係各位のお力添えもあり、坐禅経験のない一般の方の参加も多く、「總持寺 世界禪「Challenge」 大遠忌を通じて、これからの宗門に相承されていくものと存じます。

この素晴らしい企画を奉賛するとともに、ご参加いただいた方がたにも気軽に坐禅を継続していただけるよう、五〇周年記念事業の中で、オンライン坐禅「穩坐・ONZA」も二月よりスタートしております。

多くの諸問題が山積する現代にこそ、僧侶だけではない多くの方がたと縁を深め、「結集」する力を結び合わせ、未来に正伝のみ教えが相承していく行事となることを目指し、活動してまいります。



Photo by 中島 真美

奇しくも同年、全曹青は創立五〇周年をむかえ、スローガン『結集…想いを結び合わせ、未来へ』をかかげ、周年記念事業も多く展開されております。



●執筆者プロフィール

山崎秀典

曹洞宗山梨県青年会所属

今後の開催予定

令和六年 四月 七日 (日)

五月 五日 (日)

一二日 (日)

正法寺・岩手県奥州市 × 大本山總持寺

大本山永平寺 × 大本山總持寺

大本山總持寺

※これまでの開催寺院・海外寺院を中心に、スマートフォン等でのオンライン参加者と同時に坐禅